

八王子市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会

令和3年度（2021年度） 第2回会議 次第

令和3年（2021年）7月21日（水）
午後1時30分～午後3時30分
八王子市役所本庁舎 802 会議室

1 開 会

2 議 題

・八王子市子ども・若者育成支援計画の令和2年度取組状況の点検及び評価
について

3 その他

4 閉 会

【配付資料】

- ・ 子ども・若者育成支援計画 点検・評価用 事業取組状況調査票（令和2年度分）
※7月16日に事前配付済

子ども・若者育成支援計画の指標

基本方針	基本 施策	指標	現状値 (2018年 度)	2020年度 実績値	中間値 (2022年 度)	目標値 (2024年 度)	所管
全体指標		安心して子育てができていると感じている市民の割合	56.0%	55.4%	60%	60%以上	経営計画第一課
		子どもが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合	52.1%	47.1%	60%	60%以上	経営計画第一課
1	1	計画期間中に子どもたちからの提案を参考に実施した事業数（累計）	-	0件	4件	7件	子どものしあわせ課
		子どもの身近に相談できる人がいる割合	91.3%		-	95%以上	子どものしあわせ課
		子どもすこやか宣言の普及啓発事業の実施	実施	実施	充実	充実	子どものしあわせ課
	2	放課後子ども教室実施校数（うち週5回実施する学校数）	65校 (24校)	66校 (34校)	68校 (40校)	全69校 (45校)	生涯学習政策課
		プレーパーク事業の実施検討	-	未実施	検討	実施	青少年若者課
		ボール遊びができる場のルールづくり	-	未実施	実施	実施	青少年若者課
	3	「幼児教育・保育の質ガイドライン」の策定	-	策定中	実施	実施	子どもの教育・保育推進課
		保育施設・幼稚園における「保・幼・小連携の日」の実施率	71.9%	79.4%	80%	90%	子どもの教育・保育推進課
	4	赤ちゃんふれあい事業の実施校数	27校	22校	32校	34校	子どものしあわせ課
		青少年育成指導者の数	231人	229人	241人	248人	青少年若者課
		子ども食堂などを実施する団体数	21団体	31団体	30団体	35団体	子どものしあわせ課
		子どもや若者の居場所となる児童館機能の拡充	検討	未実施	実施	実施	青少年若者課
2	5	妊婦面談実施率	79.9%	95.7%	95%以上	95%以上	保健福祉センター
		赤ちゃん訪問事業の訪問率	93.9%	96.2%	95%	95%以上	保健福祉センター
		産後ケア事業（通所型・宿泊型）の実施	未実施	実施	実施	実施	保健福祉センター
	6	保育所待機児童の数	26人	19人	0人	0人	子どもの教育・保育推進課
		公立保育所における一時保育の拡充	-	実施	実施	実施	子どもの教育・保育推進課
		学童保育所待機児童の数	215人	154人	22人	0人	青少年若者課
		一体型の学童保育所・放課後子ども教室の実施校数	43校	51校	53校	53校	生涯学習政策課
		子育て応援企業の登録数	188事業所	188事業所	200事業所	210事業所	子どものしあわせ課
	7	毎日朝食を食べる3歳児の割合	95.9%	96.8%	98%	98%以上	保健福祉センター
		ババママクラスなどの健康教育（母性科）の開催回数	75回	27回	75回	75回	保健福祉センター
		「のびのび子育て講座」実施数	1,050回	986回	1,074回	1,086回	子ども家庭支援センター
	8	子育てひろばガイドラインの策定	-	検討	策定	実施	子ども家庭支援センター
		地域福祉推進拠点の整備数（社会福祉協議会）	4か所	9か所	21か所	21か所	福祉政策課
3	9	子ども食堂などを実施する団体数（再掲）	21団体	31団体	30団体	35団体	子どものしあわせ課
		子育て応援企業の登録数（再掲）	188事業所	188事業所	200事業所	210事業所	子どものしあわせ課
	10	子育て応援団Beeネットの登録者数（累計）	579人	597人	640人	700人	子ども家庭支援センター
		ファミリー・サポート・センター提供会員数	693人	676人	731人	751人	子ども家庭支援センター
	11	子育て情報サイトの開設	-	実施	実施	実施	子どものしあわせ課
		子育て情報モバイルサイト「ほち☆ベビ」登録者数の割合	41.2%	38.6%	50%	60%	子どものしあわせ課
		子ども・子育てフォーラム開催	-	実施	実施	実施	子どものしあわせ課
	12	地域防犯リーダーの数（町会等あたり平均人数）	1.7人	0人	3人	3人以上	防犯課
		八王子市内の交通事故の件数(18歳以下)	135件	94件	127件	123件	交通事業課
		青少年対策地区委員会クリーン活動実施参加地区数	86地区	25地区	88地区	89地区	青少年若者課
4	13	養育支援訪問事業 訪問件数	2,516件	3,870件	3,848件	5,144件	子ども家庭支援センター
		子ども家庭支援ネットワーク中学校区分科会の開催校数	35校	19校	全37校	全37校	子ども家庭支援センター
		児童虐待防止に関する研修の実施	-	実施	実施	実施	子ども家庭支援センター
	14	重症心身障害児レスパイト事業の実施	-	実施	実施	実施	障害者福祉課
		巡回発達相談の実施件数	300件	273件	322件	329件	子どもの教育・保育推進課
		放課後等デイサービスの利用者数	1012人分	1087人分	1800人分	2100人分	障害者福祉課
	15	就労支援を実施した方のうち、就職が決まった割合	60%	41%	64%	66%	子育て支援課
		学習支援（ゆめはち先生）を受けた中学校卒業者の高校進学率	95%	100%	98%以上	98%以上	子育て支援課
		ひとり親家庭へのメールマガジンの登録者数	1,381人	2,107人	1,800人	2,000人	子育て支援課
	16	児童扶養手当受給者のうち、養育費を受け取っている割合	15.8%	18.8%	16.2%	16.4%	子育て支援課
		生活保護家庭における中学校卒業者の進学率	91%	98%	95%	95%以上	生活自立支援課
		生活に困っている世帯の新規相談受付件数（累計）	1,525件	2,235件	2,267件	2,406件	生活自立支援課

基本方針	基本施策	指標	現状値 (2018年度)	2020年度 実績値	中間値 (2022年度)	目標値 (2024年度)	所管
	17	多言語化に対応した子育てガイドブックの作成	—	実施	実施	実施	子どものしあわせ課
5	18	「若者なんでも相談窓口」における利用件数	—	576件	1,000件	1,500件	青少年若者課
		若者が対象となる生涯学習講座の数	10講座	4講座	20講座	30講座	学習支援課
	19	「若者なんでも相談窓口」における支援機関の紹介件数	-	180件	300件	450件	青少年若者課
		八王子若者サポートステーション進路決定者数	42人	37人	60人	70人	青少年若者課
		生活に困っている若者の新規相談申込件数	210件	399件	290件	320件	生活自立支援課
	20	若者施策に携わる支援者への研修参加人数	545人	324人	610人	660人	子どものしあわせ課、青少年若者課、福祉政策課
		「若者なんでも相談窓口」における若者支援ケース会議の開催数	—	66回	15回	20回	青少年若者課
	21	若者が参加する市の審議会の割合	—	7.6%	10%	15%	広聴課
		大学等と市の連携・協力事業数	267件	136件	328件	340件以上	学園都市文化課

子どものしあわせ課：スキルアップ研修 13人
青少年若者課：青少年の育成指導院への研修等人数 0人
福祉政策課：民生児童委員への研修人数 311人

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
31～34	第2章 基本方針1 ミライを担う子どもの育成	基本施策1 子どもの権利を大切に するまちづくりの 推進	施策1 子どもとつくる八 王子のミライ 重点施策	市政への子どもの参画の推進としくみづくり	・長期ビジョンに関する「高校生ワークショップ」の開催 【未来デザイン室】 ・令和2年（2020年）6月19日に、文化庁より「令和2年『日本遺産』認定」の審査結果が発表され、本市が申請した日本遺産のストーリー（タイトル：『霊気満山高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～』）が認定された。 そこで、小・中学生にとって、八王子市民として身近な郷土学習をとおして、地域への愛着等を計画的に深めていくことを推進していく。全ての学校において、系統的に「郷土学習」を年間指導計画に位置付け実施する。 【教育指導課】 ・子どもミライ会議（2月11日・オンライン開催）の場で、子ども企画委員代表2名が市長・教育長を前に意見発表した。 【青少年若者課】
				子どもたちの声の発信	・子どもミライ会議を令和3年2月11日にオンラインで開催した。 【子どものしあわせ課】
				次代のまちづくりを担うユースリーダーの育成	・大学生に対し、子どもミライ会議に向けたワークショップの運営協力や参加メンバーである子どもへの支援を経験させ、リーダー性を養う計画を立てていたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、大学生の参加は取りやめた。 【青少年若者課】
				子どもたちが主体的に行う活動の支援	・子どもミライ会議を令和3年2月11日にオンラインで開催した。 【子どものしあわせ課】
			施策2 子どもからの相談 体制の充実	子どもが相談しやすい環境づくり	・関係機関職員の研修を実施したほか、各機関間と密に連携を取ることで子どもが相談をしやすく、解決にあたりやすい環境をつくった。 【子ども家庭支援センター】 ・面談や声掛けなどで児童・生徒に相談できる大人が1人でもできるように、「児童・生徒が相談できる大人に関する調査」で実態を把握している。 ・総合教育相談室内に設けている「こども電話相談」（子ども専用）の窓口において、いじめを含めた子どもからの相談に心理相談員が対応している。 【教育指導課】 ・令和3年3月末時点で地域福祉推進拠点を9か所開設。 【福祉政策課】 ・児童館職員が、日ごろから子どもの相談相手になった。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				児童虐待やいじめ被害などの相談窓口についての情報提供の充実	・相談窓口の看板の設置や小学校での相談窓口カードの配布など、子ども達によりわかりやすい形で情報提供を行った。 【子ども家庭支援センター】 ・子どものいじめ相談を実施した。 ・新小・中学1年生への周知用リーフレットの配付を行った。 【経営計画課】 ・「いじめなど、困ったときの相談は…」八王子市版を作成、夏季休業日開始前に全児童・生徒に配布した。 ・「総合教育相談ガイド」を作成し、児童・生徒を通して全家庭に配布した。 【教育指導課】 ・児童館職員が、日ごろから子どもの相談相手になった。 【青少年若者課】
				スクールカウンセラーによる全員面談の実施	・小学校5年生・中学1年生全児童・生徒が、スクールカウンセラーによる面談を実施することで、児童・生徒の状況を把握するなど「相談すること」への抵抗感を軽減させるために全員面接を行った。 【教育指導課】
				スクールソーシャルワーカーによる全小・中学校への定期巡回相談の実施	・全小・中学校及び義務教育学校を毎月巡回訪問できる体制を構築した。 ・不登校の児童・生徒のみではなく、福祉的支援が必要と思われるケース全般について、学校からの相談に対応した。 【教育指導課】
			施策3 子どもの権利を大切に取る取組	子どもすこやか宣言の普及・啓発	・宣言のよりどころである子どもの権利条約の中に示される「参加する権利」を具現化した「子どもミライ会議」（2月11日・オンライン開催）を開催し、子ども企画委員代表2名が市長・教育長を前に意見発表しました。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				いじめ防止対策の推進	・スクールロイヤーによる相談体制を構築し、学校における問題の早期解決や相談体制の充実を図った。 【教育総務課】 ・子どものいじめ相談の実施。 【経営計画課】 ・いじめを許さないまち八王子条例第12条第4項に基づく調査報告書に示された、再発防止にむけた提言を踏まえた生活指導の徹底。 ・「八王子市いのちの大切さを共に考える日」 ・SOSの出し方に関する教育（年間1単位時間以上の実施） ・いじめ防止に関する授業（年間3回以上の実施） ・いじめ防止プログラムの実施【中学校第1学年・義務教育学校第7学年】 ・メディア・リテラシー教育の実施【小学校及び義務教育学校第6学年】 ・校内における不登校児童・生徒の実態把握、校内支援体制の確立、スクールカウンセラー、SSW等を活用した学校の教育相談体制の充実 ・いじめ重大事態等への取扱いについては、校内いじめ対策委員会で対応を検討し、丁寧に対応するなど、校内体制を確立する。 【教育指導課】 ・青少年問題協議会が定める健全育成基本方針の令和2年度（2020年度）重点目標「みんなでつないでいこう 思いやりの心」に基づき、いじめのない健全な環境づくりのため、家庭や学校、地域で「思いやりの心」を育むことを重点目標に据え、継続的に取り組んでいる。 【青少年若者課】
				子ども条例制定の検討	・新型コロナウイルスの影響により、子どもの権利についての普及を進めることができなかったため、条例制定の検討は行っていない。 【子どものしあわせ課】
				児童虐待防止活動の周知・啓発（オレンジリボン運動）	・児童虐待防止推進月間（11月）に合わせオレンジリボンキャンペーンを実施。例年は、該当活動・いちよう祭りでブース出店し、啓発グッズを配布。 【子ども家庭支援センター】
				広報媒体の活用や市民フォーラムにおける、子どもの権利に関する理解の促進と市民との共有	・子どもミライ会議を令和3年2月11日にオンラインで開催した。 【子どものしあわせ課】
35～38		基本施策2 子どもの生きる力を育む遊びや体験の充実	施策4 遊びをととした子どもの成長・発達	子どもの成長に大切な「遊び」への理解の促進	・親子ふれあい・つどいの広場にて、子育て講座を開催した。 【子ども家庭支援センター】 ・児童館では、事業報告書、しおり、ホームページなどを通して、子どもに健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにする児童館の意義について理解促進を図った。 【青少年若者課】
				八王子型児童館事業の充実	・児童館では、0歳から18歳までを対象として、年齢に応じた成長の支援を行った。行事においては、企画に子どもが参画する行事や地域の方とともに行う行事を、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、小規模で行った。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				放課後子ども教室の拡充	・ 週 5 日実施校を前年度の30校から34校に拡充した。 【生涯学習政策課】
				「幼児教育・保育の質ガイドライン」の策定・実施	・ 策定に向けて検討を進めた。 【子どもの教育・保育推進課】
				「遊び」について子どもと共に考える機会	・ ボール遊びができる場の検討などを通して、遊びや遊び場について考える機会を設ける予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、実施できなかった。 【子どものしあわせ課】
				「遊び」を支える人材育成と活動の場の充実	・ 子育てひろばコンシェルジュの育成。 【子ども家庭支援センター】 ・ 児童館職員が都の子育て支援員研修を受講する、内部研修を行うなど、職員の資質向上を図った。また、子どもの成長を支える業務に就職を希望する学生を、大学から実習生として受け入れた。 【青少年若者課】
			施策5 屋外での遊びや体験の充実 重点施策	プレーパーク事業の実施支援と人材育成	・ みはらしプレーパークに場所を提供 【公園課】 ・ プレーパークを実施する団体に対し、実施場所として子どもキャンプ場を提供。 【青少年若者課】
				本市の自然を活かした体験活動の充実	・ 自然を活用した「自然体験講座」及び市内の河川を活用した環境教育支援を実施した。 【環境政策課】 ・ 感染症拡大防止のため年4回の自然観察会は2回のみ実施した。 【生涯学習政策課】 ・ 毎年ジャガイモ・サツマイモ掘りや稲作体験事業を実施。R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【農林課】 ・ コロナウィルス影響で、全ての活動が中止となった。 【水環境整備課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				身体を使った遊びやスポーツができる環境づくり	・小田野中央公園にて「ボール遊びをすることができる遊び場事業」試行実施中。 【公園課】 ・身近な場所でスポーツができるよう、総合型地域スポーツクラブの活動を支援したほか、各種スポーツ教室を開催した。 【スポーツ振興課】 ・全小・中学校及び義務教育学校において、教育課程に体力向上の取組を位置付け、各学校における体力向上推進計画に沿って取組を進めている。 【教育指導課】 ・指定管理者等による各スポーツ教室の実施。 【スポーツ施設管理課】 ・市内小中学校運動場の維持管理に努めた。 【学校施設課】 ・児童館では、館庭、公園、体育館などで、子どもに体を使った遊びを提供した。 【青少年若者課】
				体験活動に関する子どもや子育て家庭向け情報発信の充実	・小学生向け夏休みイベントを集約した小冊子を作成・配布した。 【生涯学習政策課】
				子どもが安心して遊べる地域の公園や魅力あふれる公園づくりの推進	・遊具の長寿命化等による安全性の向上を図った。 【公園課】
		施策6 豊かな感性を育てる体験機会の充実		文化芸術やスポーツなど多彩な直接体験の充実	・青少年講座の実施。 【学習支援課】 ・読書感想画・感想文コンクールの実施。 【川口図書館】 ・感染症拡大防止のため出張体験講座は未実施となった。 【生涯学習政策課】 ・ジュニア育成やオリンピック・パラリンピック機運醸成のための各種スポーツ教室を開催したほか、ハイレベルな競技を身近に感じてもらうため、プロスポーツの開催を支援した。 【スポーツ振興課】 ・児童館では、運動を伴うレクリエーションや工作教室を開催するなどし、体験の機会を提供した。 ①八王子学生演劇祭ワークショップ(21回) ②八王子ユースオーケストラワークショップ(16回) 【学園都市文化課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				八王子の歴史や伝統文化に触れる機会の充実	・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している親子で楽しめる歴史文化体験イベントは中止となったが、学校や家庭で、八王子の歴史や文化を学びながら遊ぶことのできる、桑都八王子かるたを作成した。 ・日本遺産に認定された八王子の歴史文化を語るストーリー「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を分かりやすく紹介する施設「桑都日本遺産センター 八王子博物館」の令和3年度開館に向け、整備を行った。 【文化財課】
				青少年の海外交流・都市間交流の実施	・新型コロナウイルス感染症の影響により交流事業は中止となった。 【生涯学習政策課・多文化共生推進課】
				キッズパトロール隊防犯教室の開催	・八王子・高尾・南大沢警察署と連携し、夏休み中に防犯活動の体験を通じて、子どもの安全意識を高め、防犯活動の重要性を認識してもらう。 【参加実績】 令和2年度：新型コロナウイルスの影響により中止 令和元年度：34人 【防犯課】
				市内小学校に講師を派遣し、多世代が交流する出張体験講座の実施	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施 【生涯学習政策課】
				体験活動に関する子どもや子育て家庭向け情報発信の充実（再掲）	
				多世代が交流するボランティア活動への参加の機会の提供	・市民活動支援センターにおいて、子育て支援を行っている団体に対する活動支援を行っている。 【協働推進課】 ・小・中学生と地域の大人と一緒に身近な公園や道路の清掃活動を行う、青少年対策地区委員会が主催のクリーン活動の実施を支援した。児童館では、子どもと接することが好きなボランティアを受け入れ、活動の場を提供した。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
39～42		基本施策3 乳幼児期の教育・保育の質の向上	施策7 乳幼児期の教育・保育の質の向上	幼児教育・保育センターの設置による幼児教育の充実	・令和2年度は検討中。 【教育指導課】 ・幼児教育・保育アドバイザーが市内全ての保育施設、幼稚園を訪問し、幼児教育・保育センターの概要について周知した。 【子どもの教育・保育推進課】
				「幼児教育・保育の質ガイドライン」の策定・実施（再掲）	
				教育・保育人材の育成と確保の支援	【教育・保育人材の育成】 ・八王子市私立幼稚園協会及び八王子市私立保育園協会が行う研修事業に対して補助金を交付した。 ・幼児教育・保育アドバイザーによる訪問支援を実施した。 ・就職相談会「はちおうじ保育園フェア（八王子市私立保育園協会主催）」実施 ・就職相談会「就職面接会 in はちおうじ（ハローワークとの共催）」実施 【子どもの教育・保育推進課・保育幼稚園課】
				認定こども園の支援に関する教育委員会との連携	・令和2年度は検討中。 【教育指導課】 ・教育委員会と連携し、幼児教育・保育センターにおいて、質の高い幼児教育・保育を一体的に提供することができる認定こども園の推進を図った。 【子どもの教育・保育推進課】
				教育・保育施設における子どもの事故防止対策の推進	・市内全ての教育・保育施設を対象とした危機管理マニュアルの策定を進めた。 【子どもの教育・保育推進課】
				保育従事者などを対象とした障害児支援研修の実施	・ハッチネットセミナーを1回開催した（4回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催回数を縮小した）。 【子どもの教育・保育推進課】
			施策8 保・幼・小連携の推進	スタートカリキュラムの作成と活用	・一斉の臨時休業明けに各学校においてスタートカリキュラムを活用し、入学後の不安軽減につなげることができた。 【教育指導課】
				複合型施設における保・幼・小連携の新たな取組	・幼児教育・保育センターの設置の検討に参加 【教育指導課】 ・新たな取組について検討を進めた。 【子どもの教育・保育推進課】
				「保・幼・小連携の推進に関するガイドライン」実施の促進	・幼児教育・保育センターの設置の検討に参加 【教育指導課】 ・幼児教育・保育センターにおいて、実施の促進について検討を進めた。 【子どもの教育・保育推進課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				「保・幼・小連携の日」の取組の拡充	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取組を拡充することは出来なかったが、電話や書面で各施設間で連絡を取り合い、連携を図った。 【子どもの教育・保育推進課】
				「就学支援シート」の活用及び支援者や支援機関の連携の推進	・7月に就学支援シート、マニュアル、案内チラシを保育園・幼稚園・認定こども園等に送付し、活用の周知を図った。また、園等の職員がシートの活用方法についての理解を深めるため、10月に就学支援シートの研修会(書面開催)を開催した。 【子どもの教育・保育推進課】 ・「はちおうじっ子マイ・ファイル」の活用方法をチラシにて周知することで「就学支援シート」の活用を促進し、小学校入学にあたって切れ目のない支援を行った。 【障害者福祉課】
43～47		基本施策4 若者期へとつなぐ健康やかな育ちの支援	施策9 生活や学びの基礎を育む取組	基本的な生活習慣の獲得に向けた啓発	・乳幼児健診等で基本的な生活習慣の大切さを伝えた。 【大横保健福祉センター】 ・親子ふれあい・つどいの広場にて、子育て講座を開催 【子ども家庭支援センター】 ・スタートカリキュラムの活用。各学校における生活指導の充実 【教育指導課】
				食べる楽しさや大切さを伝える食育の推進	・乳幼児健診等で食べる楽しさや大切さを伝えた。 【大横保健福祉センター】 ・体験型のイベントを開催し、楽しみながら食育について考えるきっかけを提供する予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。 【健康政策課】
				幼児期からのESDの推進	・全小・中学校及び義務教育学校において、教育課程に環境教育の取組を位置付け、各学校における環境育全体計画に沿って取組を進めている。 【教育指導課】
				「幼児教育・保育の質ガイドライン」の策定・実施（再掲）	
				「保・幼・小連携の推進に関するガイドライン」実施の促進（再掲）	

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
			施策10 将来や生き方を考える機会の確保	赤ちゃんふれあい事業の推進	・ 市内公立中学校22校で実施した。 【子どものしあわせ課】
				いのちの大切さを伝える機会の充実	・ 全校児童・生徒朝会等の校長講話において「いのちの大切さを共に考える日」の指導及び取組内容について説明 ・ 各学年の教育活動の中で「いのちの大切さを共に考える日」の内容を実施 ・ 保護者・地域に向けた取組内容の発信（ホームページによる動画公開等） 【教育指導課】
				小・中学校からのキャリア教育の推進	・ はちおうじっ子「キャリア・パスポート」を配布し、学級活動等を中心として、児童・生徒自身が学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう活用している。 【教育指導課】
				ボランティア活動や地域活動への参加の機会の充実	・ 市民活動支援センターにおいて、子育て支援を行っている団体に対する活動支援を行っている。 【協働推進課】 ・ 児童館では、子どもと接することが好きなボランティアを受け入れ、活動の場を提供した。 【青少年若者課】
				「こどもシティ」など児童館での就労体験事業の充実	・ 児童館では、地域との協働によって子どもに就労体験を与えるイベント「こどもシティ」を企画したが、新型コロナウイルスの影響により、やむなく中止した。 【青少年若者課】
				車いすや高齢者疑似体験、障害当事者の話を聞く機会など福祉教育の充実	・ 市内小中学校での車いす体験を実施した。 【福祉政策課】
			施策11 青少年の健全育成に向けた支援	子ども会活動への支援	・ 「地域力」による青少年健全育成の更なる推進をめざし、八王子市子供会育成団体連絡協議会が「文化の日子どものつどい」を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、「姫木平の宿泊研修」「新春子ども大会」は中止となった。 【青少年若者課】
				青少年育成指導員や青少年対策地区委員会の活動支援	・ 229名の育成指導員により2,844回以上の巡回活動、37地区の青少年対策地区委員会による地域の実情に応じた健全育成活動を実施した。 ・ 感染拡大の影響により、青少年健全育成キャンペーンのいちょうまつり等での実施は中止としたが、年間をとおして啓発グッズを配布するなどして啓発活動を実施した。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				メディアリテラシーの向上に向けた啓発活動の実施	・市立小学校69校及びいずみの森義務教育学校（約150学級）6年生全児童対象（約4700名）にメディアリテラシー教育を実施した。 ・LINE 未来財団講師によるワークショップの実施した。 ・子どもたちがインターネット上での適切なコミュニケーション方法を「自ら考える」ことを主眼とし、児童の想像力・判断力を育む授業を実施した。 【教育指導課】 ・八王子市青少年健全育成基本方針の令和2年度重点目標を「みんなでつないでいこう思いやりの心」とし、その行動指針の一つを「ふりかえろう 家族で スマホの使い方」と定め、家庭・学校・地域が連携しながら、メディアリテラシーを向上する「セーフティ教室」や「情報モラル講習会」などを多くの団体において実施した。 【青少年若者課】
				青少年育成協力店と連携した活動の推進	・育成指導員がコンビニや書店などの青少年にとって身近な店舗に直接訪問し、更新・新規加入を呼びかけた。また、長期休み期間中の子どもに対する見守り活動への協力を依頼するなどし、連携を推進した。（店舗数：518店） 【青少年若者課】
				社会を明るくする運動の実施	新型コロナウイルスの影響でいちょうホールでのイベントや駅頭一斉広報活動は中止としたが、その中で実施している作文コンテストの表彰式については規模を縮小し、開催した。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				学校や関係機関と連携した、薬物の危険性や飲酒・喫煙による健康への影響についての啓発・教育活動の実施	・大学コンソーシアム発行のBIGWESTでタバコの影響について記事を載せ、普及啓発を行った。 【健康政策課】 ・「薬物乱用防止教室」や薬物乱用防止を取り上げたセーフティ教室の開催を、発達段階に応じて年間指導計画に位置付け、必ず年1回以上、計画的に実施。 【教育指導課】 ・市民向け普及啓発講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。 【保健対策課】 ・八王子市学園都市推進会議と大学コンソーシアム八王子が共同で作成する新入生向け情報誌「BIG WEST 2021」に薬物の危険性や飲酒・喫煙による健康への影響等について記事を掲載し、40,000部を各大学等を通じて新入生に配付する。 【学園都市文化課】 ・市立中学校、東京都薬物乱用防止推進八王子地区協議会指導員及び薬物乱用防止推進サポーターが連携し、薬物乱用防止啓発カレンダーを作成・配布することで啓発に努めた。 ・また、希望のあった小中学校に指導員が出張し、小中学生に対して薬物乱用防止に関する講義を行った。 【生活衛生課】 ・青少年問題協議会において、警察署より薬物犯罪を含む少年犯罪の傾向を報告してもらい、関係機関、団体間で共有を図った。 【青少年若者課】
				次代のまちづくりを担うユースリーダーの育成（再掲）	
			施策12 地域における子どもの居場所づくり	子どもの居場所となる児童館機能の充実	・令和2年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策に努めた一方で、機能充実に係る検討は進まなかった。 【青少年若者課】
				子ども食堂等の設置促進	・地域福祉推進拠点等に相談があった際には、市の担当所管課へ案内している。 【福祉政策課】 ・八王子食堂ネットワークの活動により、子ども食堂の立ち上げ支援や助言を行った。 【子どものしあわせ課】
				放課後子ども教室の拡充（再掲）	

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				学校施設を活用した子どもの居場所づくり	・学校施設を活用して、地域人材の協力のもと放課後子ども教室を実施した。 【生涯学習政策課】 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にかかわる一斉臨時休業時に、小学校において、就労などやむなく家庭で保育ができない第1学年から第3学年までの児童を対象に学校での居場所づくりを実施した。（昼食提供あり） 【教育指導課】
				公共施設を利用した居場所づくり	・「学生のためのフリースペース」の実施 【学習支援課】 ・市民活動支援センターにおいて、子育て支援を行っている団体に対する活動支援を行っている。 【協働推進課】
				みどりの活動を通じた地域コミュニティの推進	・指定管理者による子ども向けのイベントの実施した。 【公園課】
49～52	第2章 基本方針2 子どもを育む家庭への支援	基本施策5 妊娠期からの切れ目ない支援の充実	施策13 八王子版ネウボラによるきめ細かな相談・支援の充実	保健師等による妊婦面談の実施	・保健師等による妊婦面談を実施した。 【大横保健福祉センター】
				利用者のニーズに合わせた産後ケア事業の実施	・利用者のニーズに合わせた産後ケア事業を実施した。 【大横保健福祉センター】
			重点施策	妊娠・出産・子育てについて相談しやすい環境づくり	・妊娠期から出産・子育てについて相談をしていくように伝えた。 【大横保健福祉センター】
				妊娠期からの仲間づくりや家庭での準備をサポートする講座等の充実	・コロナ禍のため講座は個別対応にて実施し、家庭での準備等について説明した。 【大横保健福祉センター】 ・親子ふれあい・つどいの広場にて、プレママ講座を開催した。 【子ども家庭支援センター】 ・児童館では、妊娠中の方向けの講座を企画したが、新型コロナウイルスの感染が広がり、やむなく中止した。 【青少年若者課】
				妊娠・出産・子育て期の切れ目のない情報提供	妊娠・出産・子育て期の切れ目のない情報提供を行った。 【大横保健福祉センター】
				産前・産後期の家庭へのヘルパーの派遣	・産前・産後サポート事業（ハローベビーサポート）を実施した。 【子ども家庭支援センター】
				八王子版ネウボラ「乳幼児手帳」を始め、「はちおうじっ子マイファイル」事業を活用した切れ目ない支援の推進	・八王子版ネウボラ「乳幼児手帳」を始め、「はちおうじっ子マイファイル」事業を活用した切れ目ない支援を推進した 【大横保健福祉センター】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				支援機関や分野を横断した連携の強化	・関係機関と必要に応じて連携し、支援した。 【大横保健福祉センター】 ・各関係機関と連絡会を設けた他、地域単位での会議の実施や適宜連絡を取り合い必要な連携体制を構築した。 【子ども家庭支援センター】 ・児童館では、近隣の子ども家庭支援センター、学校、保育園等の機関と連携を図り、子どもの健全育成に努めました。 【青少年若者課】
			施策14 親と子の健康づくりの推進	あかちゃん訪問事業の実施	・あかちゃん訪問事業を実施した。 【大横保健福祉センター】
				生活習慣など、親子の健康についての情報提供の充実	・生活習慣など、親子の健康についての情報提供を充実させた。 【大横保健福祉センター】
				利用者のニーズに合わせた産後ケア事業の実施（再掲）	
				乳幼児健診・予防接種の実施	・乳幼児健診を実施した。 【大横保健福祉センター】 ・予防接種法に基づく定期接種及び市独自の特別接種を実施し、子どもの疾病予防を図る。また、近隣市との相互乗り入れにより接種しやすい環境を整備する。 【健康政策課】
				予防接種についてのわかりやすい情報発信	・予防接種ガイドにより乳幼児期に接種が必要な予防接種の情報をまとめ、広報折込により全戸配布を行う。また、「はちペビ」やSNSなどで予防接種に関する情報提供を行う。 【健康政策課】
				3歳児健診における視機能簡易検査の導入	・3歳児健診において視機能簡易検査を継続し、必要に応じて医療機関へ受診勧奨を行った。 【大横保健福祉センター】
				心理発達相談の実施	・心理発達相談を実施した。 【大横保健福祉センター】
53～56		基本施策6 働きながら子育てできる環境の整備	施策15 多様な教育・保育の提供	一時保育の拡充	千人保育園の土曜日の本格実施及び子安保育園の定員を10名増員した。 【子どもの教育・保育推進課】
				病児・病後児保育の拡充	・企業主導型保育所1園で新たに病児保育事業を開始した。（事業者の独自事業） ・町田市と締結していた病児保育事業の広域利用協定を相模原市とも締結し、利用者の利便性向上を図った。 【保育幼稚園課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				公立保育所における障害児受入の充実	・ 看護師の採用増に伴う、受け入れ態勢の強化を図った。 【子どもの教育・保育推進課】
				認定子ども園の設置促進	・ 4園の認可保育所が幼保連携型認定こども園に移行したほか、既存の1園で施設整備を行った。 【子どもの教育・保育推進課】 ・ 認可保育所4施設について令和3年4月からの幼保連携型認定こども園への移行を支援した。 【保育幼稚園課】
				ショートステイ・トワイライトステイ事業の充実	・ 要綱を変更し優先利用条件の追加、事業の周知、利用枠の確保、新規事業者の開拓を実施。 【子ども家庭支援センター】
				ファミリー・サポート・センター事業の充実	・ 保育サポート講習、緊急救命講習等の実施や、育児の支援を行う提供会員の確保・育成を行った。 【子ども家庭支援センター】
				幼児教育・保育センターの設置による幼児教育の充実（再掲）	
				「幼児教育・保育の質ガイドライン」の策定・実施（再掲）	
			施策16 学童保育所の整備・拡充 重点施策	学童保育所の施設整備	・ 待機児童が見込まれる小学校の計画的な整備に加え、令和3年度に待機児童が多く見込まれた二つの小学校区で緊急整備を実施した。 【青少年若者課】
				一体型の学童保育所・放課後子ども教室の拡充	・ 学童保育所が学校敷地内または隣接地にある51の小学校で一体型の学童保育所・放課後子ども教室を実施した。 【生涯学習政策課】 ・ 両事業の効果的な一体型を推進するため、都型一体型学童モデル事業を2校で実施した。 【青少年若者課】
				学童保育所における夏休みの昼食提供	・ 学校外にある施設も含め4校で実施した。 【青少年若者課】
				学童保育所での高学年の受け入れ拡大	・ 利用定員に余裕があり、高学年の受け入れ環境のある2施設で、9月より4年生の受け入れを実施した。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
57～60			施策17 子育てと仕事が両立できる環境づくり	ワーク・ライフ・バランスについての情報発信	・Webサイト「はちおうじ就職ナビ」登録企業に対し情報提供を行った。 【産業政策課】 ①子育て世代を対象に、男性の家庭参画を促進するための講座を開催。「片付けパバ®から学ぶタイムマネジメントのヒント」（参加者11名） ②子育て世代を対象に、父親も育児休業取得促進リーフレットを配布。（4,200枚） ③ホームページでワーク・ライフ・バランスを周知した。 ④はちおうじ就職ナビ掲載企業（325社）及び八王子商工会議所会員企業（1,470社）へ、事業者向けワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットを配布した。 【男女共同参画課】
				子育て応援企業への支援の充実及び表彰制度の検討	・令和2年度は子育て応援企業への情報提供や企業同士の情報交換を行う子育て応援カフェを4回実施した。 【子どものしあわせ課】
				女性のための再就職支援	・出産・育児・介護などで就業ブランクのある方や、仕事と家庭の両立を目指す方の就職支援を行った。 ・ハローワーク八王子（マザーズコーナー）との共催で、託児付きのパソコン講習会（全3日間、参加者9名、託児利用5名）を行った。 【産業政策課】 ・就労支援セミナー開催。「労働セミナー」（参加者79名）「パートタイム就職支援セミナー」（参加者26名） ・就労支援講座開催。「働く女性のためのストレスの処方箋」（参加者10名）「女性のためのプチ起業入門」（参加者20名） ・子育て中の女性が八王子しごと情報館で求職活動をする際に、「ほっとタイムサービス」での託児を実施。（利用者6名） 【男女共同参画課】
				子育てと仕事の両立支援	・ハローワーク八王子（マザーズコーナー）との共催で、パートタイムセミナー（1回、参加者31名、託児利用3名）を行った。 【産業政策課】
		基本施策7 子育て家庭への支援の充実	施策18 子育て家庭への経済的支援	幼児教育・保育の無償化	・国制度の幼児教育・保育の無償化にあわせ本市独自の保護者負担軽減を実施した。 【保育幼稚園課】
				子育て家庭への住宅支援の充実	・市営住宅において、子育て世帯向け住宅割当制度を導入し、令和2年7月の市営住宅入居募集において、子育て世帯向け定期使用住宅を24戸募集した。 ・家賃補助対象住宅において、子育て世帯対象に入居者を募集した。 【住宅政策課】
				各種手当・医療費の助成	・児童手当・児童扶養手当・児童育成手当の支給、乳幼児・義務教育就学児・ひとり親家庭などへの医療費助成の実施により、子育て家庭への経済的支援を行った。 【子育て支援課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				多子軽減の実施	・ 幼児教育・保育の無償化にあわせ、保育料の算定に係る生計同一兄弟姉妹の年齢制限を撤廃し、第2子は半額、第3子以降は無料とする多子世帯の負担軽減を実施した。 ・ 令和2年度からは、認可保育所に通う全ての世帯の第3子以降の給食費を無料とした。 【保育幼稚園課】
				特定不妊治療費助成の実施	・ 特定不妊治療費助成を行った。 R2年度実績 決定551件、助成額131,923,650円 【保健対策課】
			施策19 家庭における食育 や家庭教育の支援	食べる楽しさや大切さを伝える食育の推進（再掲）	
				家庭教育の支援の充実	・ 親子ふれあい・つどいの広場で、子育て講座や年中行事のイベントを開催した。虐待防止キャンペーンでは、虐待防止の啓発活動を行っている。 【子ども家庭支援センター】 ・ 市内小学校4校にて、家庭教育支援講座を実施した。 【生涯学習政策課】
				基本的な生活習慣の獲得に向けた啓発（再掲）	
				親子クッキングや公立保育園での給食試食会の実施	親子が楽しく食について学び、望ましい食習慣を自然と身につけることができるよう、食育に関する講座の充実をはかった。（親子クッキングは、1月開催分については、緊急事態宣言発出のため中止。保護者給食試食会もコロナウイルス感染状況を踏まえ中止。） 【子どもの教育・保育推進課】
			施策20 子育ての楽しさを 支える学びの場の 提供	子育てに関する講座やイベントの充実	・ コロナ禍のため講座については実施方法を見直し、個別対応にて実施した親子ふれあい・つどいの広場にて、子育て講座を開催した。 【大横保健福祉センター】 ・ 子育て応援ひろば、家庭教育講座の実施 【学習支援課】 ・ 児童館では、保護者向けの講座や保護者の参加も可能な行事を開催した。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				父親の育児参加の促進	・親子の健康ガイドやパパマクラス等で父親の育児参加の促進を図った。 【大横保健福祉センター】 ・親子ふれあい・つどいの広場にて、父親参加型の子育て講座・イベントを開催した。 【子ども家庭支援センター】 ・子育て世代を対象に、男性の家庭参画を促進するための講座を開催した。「パパと一緒に工作と昔遊びを楽しもう」（参加者5組） ・子育て世代を対象に、「父親も育児休業取得促進リーフレット」を配布した。 (4,200枚) ・男女共同参画情報紙「ばれっと」Vol.41発行。タレントのスギちゃんに子育て関連のインタビュー「子育ても仕事もワイルドに楽しもう！」を掲載した。（発行部数284,505部） 【男女共同参画課】 ・児童館では、父親の育児参加を促す講座や行事を開催した。 【青少年若者課】
				子育てサークルの育成支援	・地域子ども家庭支援センターで子育てサークルを支援している。 【子ども家庭支援センター】
				妊娠・出産・子育て期の切れ目のない情報提供（再掲）	
61～63		基本施策8 身近な場所での相談・居場所の充実	施策21 子育てひろばの充実 重点施策	「子育てひろばガイドライン」の策定・実施	・令和3年度に検討会を設置した。 【子ども家庭支援センター】
				子育てひろばスタッフの人材育成	・広場受託者会議・研修を開催した。 【子ども家庭支援センター】
				子育てひろばに関する情報発信の充実	・子育て応援サイトにて、情報発信した。 ・毎月各ひろばでイベントや講座を掲載した「ひろばのおたより」を作成。 【子ども家庭支援センター】 ・子育てひろばでのイベントや講座情報を広報やホームページで発信した。 【青少年若者課】
				子育てひろばと地域の連携推進	・地域子育て支援情報誌を配布。 【子ども家庭支援センター】 ・子育てひろばでの講座に地域の人材を講師として活用した。 【青少年若者課】
				子育てサークルの育成支援（再掲）	

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
			施策22 子育てに関する相談体制	子育てひろばでの相談体制の充実	・全親子ふれあい・つどいの広場（11か所）に子育てひろばコンシェルジュを配置した。 【子ども家庭支援センター】 ・児童館の子育てひろばでは、職員が親の不安や悩みの聞き手となり、不安の解消に努めた。 【青少年若者課】
				公立保育所の保育士による子育て訪問相談	保育施設や幼稚園に在籍していない就学前児童と家庭を対象に、公立保育園の保育士が家庭に訪問し、子育てに関する悩みを聴き、子育てに関する相談を行行った。 【子どもの教育・保育推進課】
				地域福祉推進拠点の設置の推進	・令和3年3月末時点で地域福祉推進拠点を9か所開設した。 【福祉政策課】
				多様化する家庭の悩みに対する包括的な相談・支援体制	・相談時に他機関に同席してもらった他、支援方針や課題の共有のため関係機関が集まり会議を実施した。 【子ども家庭支援センター】 ・八王子市包括的な地域福祉ネットワーク会議を実施し、関係機関との連携を図った。 【福祉政策課】 ・児童館の子育てひろばでは、職員が親の不安や悩みの聞き手となり、不安の解消に勤めました。 【青少年若者課】
				八王子版ネウボラによるきめ細かな相談・支援（再掲）	
				乳幼児健診時における相談の充実	・乳幼児健診時において医師や専門職による相談を実施した。 【大横保健福祉センター】
				子ども食堂における、子どもや保護者の居場所づくりや気軽に悩みを話せる場づくりの支援	・八王子食堂ネットワークによりSNSなどで情報発信を行い、広く周知を行った。 【子どものしあわせ課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
65～68	第2章 基本方針3 子ども・子育てを みんなで支えるま ちづくり	基本施策9 子育てを共に楽しむ まちづくり	施策23 子育てを応援する 市民活動団体の支 援	市民活動団体等のネットワークづくりの支援	・地域子育て支援情報誌を配布。子育て講座の依頼。 【子ども家庭支援センター】 ・市民活動支援センターにおいて、子育て支援を行っている団体に対する活動支援を行った。 【協働推進課】
				市民活動団体等の取組についての情報発信	・地域子育て支援情報誌を配布 【子ども家庭支援センター】 ・市民活動支援センターにおいて、子育て支援を行っている団体に対する活動支援を行った。 【協働推進課】
				子ども食堂や無料学習塾等の活動支援	・シニア世代を対象とした学習支援者の養成講座を実施した。 【福祉政策課】 ・八王子食堂ネットワークの連絡会や団体間の連携により情報交換の場を提供、また市の補助金を支給し活動の費用を支援した。 【子どものしあわせ課】
			施策24 企業・大学等の参 加による子ども・ 子育て支援 重点施策	子育て応援企業の活動支援	・令和2年度は子育て応援企業への情報提供や企業同士の情報交換を行う子育て応援カフェを4回実施した。 【子どものしあわせ課】
				大学等との連携による子ども・子育て支援の充実	小学校4～6年生を対象に、大学等が講座を提供する「夏休み子どもいちょう塾」を例年実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。 【学園都市文化課】
				市民や企業、大学など、多様な立場からの子ども・子育て支援への参画・協働の推進	・大学の研究室と連携して、発達に課題のあるお子さんと保護者への支援を行っている。 【子ども家庭支援センター】 ・各児童館で、児童館活動の理解促進と地域ぐるみによる子育ての意識を高めるための地域連絡会を開催した。 【青少年若者課】
			施策25 子育て施設や学校 施設を核とした地 域づくり	子育て支援施設を核とした地域連携の推進	・学校や協力団体等地区単位で集まり情報共有を行うことで、各地域での支援体制の推進を図った。 【子ども家庭支援センター】 ・児童館では、地域との協働によるイベント「こどもシティ」を企画しましたが、新型コロナウイルスの感染が広がり、やむなく中止した。 【青少年若者課】
				学校施設を核とした地域づくりの推進	学運協委員や、学校コーディネーターを対象とした計画配信形式による合同研修会の実施 【地域教育推進課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
69～71		基本施策10 子育てを支える地域 人材の育成	施策26 子育てボランティアへの支援	子育てボランティアへの参加促進	・市内5か所の子ども家庭支援センターで、子育て支援を行うボランティアを募集・登録を行っている。 【子ども家庭支援センター】 ・市民活動支援センターにおいて、子育て支援を行っている団体に対する活動支援を行っている。 【協働推進課】 ・市のホームページの児童館ページにて、通年でボランティア募集の案内を掲載している。 【青少年若者課】
				子育てボランティアの育成と活動の場の充実	・Beeネットボランティアの事業を実施した。 ・子育て講座への参加による研修を行った。 ・図書館と連携し、ブックファースト事業の手伝い等を行った。 【子ども家庭支援センター】 ・児童館では、子どもと接することが好きなボランティアを受け入れ、活動の場を提供した。 【青少年若者課】
				学生ボランティアの育成	・Beeネットボランティアの事業を実施した。 （資格要件はなく、年齢要件のみのため、学生も参加可能。） 【子ども家庭支援センター】 ・児童館では、教員等を目指す学生ボランティアを受け入れ、子どもと接する機会を提供する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、受け入れることはできなかった。 【青少年若者課】 - 例年、学生が参加可能なボランティア活動について全庁的に照会し、取りまとめた結果を大学コンソーシアム八王子加盟校等に情報提供しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止とした。 【学園都市文化課】
				学習支援を通じた世代交流の場づくり	・シニア世代を対象とした学習支援者の養成講座を実施した。 【福祉政策課】
				市民や企業、大学など、多様な立場からの子ども・子育て支援への参画・協働の推進（再掲）	
			施策27 子育て支援者の活動の促進	子育て支援に関わる研修やネットワークの充実	・ファミリーサポートセンター事業の提供会員向けにフォロー研修・救急救命講習・調整会議・交流会を行っている。 【子ども家庭支援センター】 ・民生委員児童委員協議会の部会活動等で子育て支援に関する研修を実施した。 【福祉政策課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				ファミリー・サポート・センター事業の充実（再掲）	
72～74		基本施策11 子育てプロモーションの推進	施策28 みんなに届く子育て情報の発信 重点施策	様々な媒体を活用した多様な情報発信	・「はちおうじの教育」発行（4回/年）・市HP上への学校フォトニュースの掲載計2回 【教育総務課】
				子育てサイトの運営	令和3年3月に子育ての情報を掲載した子育て応援サイトを公開した。 【子どものしあわせ課】
				八王子市の魅力を伝える積極的な子育てプロモーション	令和3年3月に子育ての情報を掲載した子育て応援サイトを公開した。 【子どものしあわせ課】
				利用者評価制度やモニターなど、市民参加型の情報提供の実施	新型コロナウイルスの影響により、児童館の休館や子育てひろばの利用を休止していたため、検討は行っていない。 【子どものしあわせ課】
			施策29 子育てをみんなで楽しむ地域づくり	子ども・子育てフォーラムの開催	令和3年3月に実施し、幅広い層の30名の方が参加した。 【子どものしあわせ課】
				市民や企業、大学など、多様な立場からの子ども・子育て支援への参画・協働の推進（再掲）	
				「子ども・若者基金」の設置	令和2年3月設置 令和2年度運用状況 基金積立残高 612,565,436円 内訳 ・子ども・子育て支援交付金相当額 612,046,000円 ・指定寄附金 15,240円 ・大口預金利子 4,196円 【子どものしあわせ課】
				「ぼくらの八王子」の普及・啓発	「ぼくらの八王子」のCD販売を八王子駅南口総合事務所と保育幼稚園課で行い、歌とダンスの普及に努めた。 【保育幼稚園課】
75～79		基本施策12 親子が安全・安心に暮らせるまちづくり	施策30 子どもと一緒に子育てしやすいまちづくり	道路や公共施設におけるユニバーサルデザインの促進	・英語表記の看板設置についての計画を立て、設置箇所について優先順位付けを行った。 【庁舎管理課】 ・道路の新設・改良整備にあたっては、ユニバーサルデザインに配慮し整備を実施した。 【路政課】
				子どもや子育て世帯にとって魅力あるまちづくり	

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				子どもや親子がおでかけしやすい公共交通の検討	・ バスマップの作成やバスやタクシーのバリアフリー化の促進等 【交通企画課】
				乳幼児連れに対する配慮の推進	・ バスマップの作成やバスやタクシーのバリアフリー化の促進等 【交通企画課】
				赤ちゃん・ふらっとの周知	・ PRの促進を行い、新たに3か所の「赤ちゃん・ふらっと」が設置された。 【子どものしあわせ課】
			施策31 地域力を活かした 防犯対策	地域や事業者と連携した見守りやパトロール活動の充実	・ 町会自治会を対象にした地域防犯リーダー養成講習会の実施 【実績】 令和2年度：新型コロナウイルスの影響により中止 【防犯課】 学校安全ボランティア、スクールガード・リーダーによる見守り活動を実施子ども 家庭支援センターと連携しながら、気になるお子さんの見守りや情報の共有をは かった。 【地域教育推進課】
				犯罪・不審者情報のメール・SNSによる情報発信	・ 令和2年度：332回 令和元年度：245回 【防犯課】
				町会・自治会が行う防犯活動の推進	・ 町会自治会へ防犯パトロールの際に必要な腕章・ベスト・合図灯などの物品の貸 し出しを行っている。 【貸与団体】 令和2年：51団体 令和元年：81団体 【防犯課】 ・ 町会・自治会に対して、防犯カメラ設置・維持のための補助金を交付している。 【協働推進課】
				小・中学校における子どもの安全・安心確保の取組	・ 全小・中学校で安全教育年間計画を作成し、毎月1回避難訓練及び安全指導日を 設定する。また、そのうち9月までに1回以上、地域と連携した避難訓練を実施小P 連が行っている「ピーボくんの家」事業への支援を行った。 【地域教育推進課】
				キッズパトロール隊防犯教室の開催（再掲）	

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
			施策32 子どもを事故から 守るための取組	地域が一体となった交通安全点検の実施と対策の推進	・新任町会長に対して、防犯パトロール等の内容を盛り込んだ研修を実施している。 【協働推進課】 ・学校・警察・道路管理者・町会・PTAが参加する通学路合同点検を実施 【地域教育推進課】 ・交通安全点検に基づき対策工事を実施した。 【路政課】
				年齢に応じた交通安全教室・自転車教室の実施	・子どもたちが楽しみながら交通ルールを学べるよう、交通公園や保育園などで交通安全教室を107回開催したほか、自転車安全運転免許証発行（小3対象、3,227名）、自転車安全教室（小5対象、2,464名）、スタントマンを活用した自転車安全教育（中学生・高校生対象、3,575名）を実施し交通事故防止を呼びかけた。また、子どもの交通安全意識の向上を目的に、小学生交通安全絵画コンクール（30校、1,685名参加）を開催した。 【交通事業課】 ・小学校3・5年生において自転車安全教室を計画・実施。（コロナ禍において中止の学校あり）中学校においては学校の実態に応じて実施。 ※自転車安全教室の実施所管は、令和2年度より交通事業課 【教育指導課】
				チャイルドシートの適正利用や子どもの自転車用ヘルメットの着用など、子どもを交通事故被害から守る対策の啓発	・小学生の交通事故による被害を抑えるために、市内在住の小学生に対して、自転車ヘルメットの購入費を助成（子どもの安全安心自転車ヘルメット補助金、1,990件）し、着用を推進した。 【交通事業課】
				家庭内や日々の生活の中での、子どもの不慮の事故を予防するための情報提供	・赤ちゃん訪問や乳幼児健診、出張講座等で情報発信するとともに生活状況を確認したうえで、注意を行った。 【大横保健福祉センター】 ・子どものまわりにあるさまざまな危険をお知らせする「子どもサポート情報」（国民生活センター発行）を、毎月の消費生活ニュースの発行に合わせて保育幼稚園課ヘデータで送信し、関係機関への周知を依頼した。 【消費生活センター】
				保育施設や幼稚園が行う園外活動の安全を確保するキッズゾーン設置の検討	キッズゾーン設置について検討した結果、交通規制を実施する場合、警察や関係機関との連携ほか地域住民等の理解を得る必要もあることから、キッズゾーン設置以外の取組を進めることとした。 【保育幼稚園課】
				園外活動交通安全ハンドブックを活用した安全確保の取組	園外活動交通安全ハンドブックを活用し、安全確保の取組を実施した。 【子どもの教育・保育推進課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
			施策33 きれいなまちづくりの推進	きれいなまちづくりへの啓発活動	・ 小学4年生児童が作成した「ごみ問題啓発ポスター」952枚を、八王子駅北口地下自由通路に掲出し、作成に参加児童及び作品鑑賞者に環境問題についての意識向上を図った。 【ごみ減量対策課】 ・ 路上喫煙禁止やポイ捨て禁止等の看板・横断幕を設置し、周知・啓発に努めた。また、八王子駅南口総合事務所にて開催したクールセンター八王子展にて、喫煙マナーアップキャンペーンを実施した。 【環境政策課】
				子どもも参加しやすいクリーン活動の実施支援	・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、共催してきた「みんなの町の清掃デー、みんなの川の清掃デー、秋の町の清掃デー」は中止となった。 【ごみ減量対策課】 ・ 小・中学生と地域の大人と一緒に身近な公園や道路の清掃を行う、青少年対策地区委員会が主催のクリーン活動の実施を支援した。 【青少年若者課】
				自然を活かしたきれいなまちであり続けるための啓発や活動の推進	・ 八王子駅北口、八王子駅南口、南大沢駅にて喫煙者等実態調査を実施した。 【環境政策課】
81～84	第2章 基本方針4 配慮が必要な子どもと家庭への支援	基本施策13 児童虐待の防止	施策34 児童虐待の予防や早期発見・早期対応の充実 重点施策	八王子版ネウボラによる児童虐待の予防や早期発見に向けた体制の充実	・ 八王子版ネウボラによる児童虐待の予防や早期発見に向けた体制を充実させた。 【大横保健福祉センター】 ・ 各保健福祉センターと連携し、妊娠期から関わりを持つことで家庭状況の把握や育児支援を行うことで虐待の予防と早期発見につなげた。 【子ども家庭支援センター】
				小・中学校における児童虐待予防と早期発見に向けた体制の充実	・ スクールソーシャルワーカーによるきめ細やかな定期巡回相談の実施 ・ 「子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）」の構成員を講師とした、生活指導主任研修会などを開催 【教育指導課】
				気軽に悩みや不安を話せる機会や場所の充実	・ 親子ふれあい・つどいの広場 【子ども家庭支援センター】 ・ 令和3年3月末時点で地域福祉推進拠点を9か所開設。 【福祉政策課】 ・ 児童館の子育てひろばでは、職員が親の不安や悩みの聞き手となり、不安の解消に勤めた。 【青少年若者課】
				育児不安を軽減する出産・育児情報の提供	・ 育児不安を軽減する出産・育児情報を提供した。 【大横保健福祉センター】 ・ 各保健福祉センターと連携し、妊娠期から必要な情報を提供することで準備に十分な時間を取れるようにした。 【子ども家庭支援センター】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				子育てひろばでの相談体制の充実（再掲）	
				公立保育園の保育士による子育て訪問相談（再掲）	
			施策35 児童虐待防止を支えるネットワークの充実と人材育成	支援機関の連携を深めるネットワークの充実	・各機関との連絡会等を実施しただけでなく、各機関を集め協議や情報共有を図った。 【子ども家庭支援センター】
				行政の分野を横断した情報共有と連携強化	・関係部署との情報共有と連携を強化した。 【大横保健福祉センター】 ・検討会議を行う際等に、関係部署にも参加してもらい情報の共有や連携の強化を図った。また、日頃から情報を共有できるよう連絡を密に行った。児童相談所・子ども家庭支援センター・警察署等との連携強化。 【子ども家庭支援センター】 ・八王子市包括的な地域福祉ネットワーク会議を実施し、関係機関との連携を図った。 【福祉政策課】
				児童虐待防止のための人材（人材）育成	・児童相談所と人事交流を図った他、定期的に研修を開催または参加をし人材育成を図った。 【子ども家庭支援センター】
				子ども家庭支援ネットワークに関わる職員や主任児童委員・民生児童委員に対する研修	・連絡会や委員会を実施する中で、児童虐待に関する最新の情報の提供や、市における現状の共有等により関係職員の育成に努めた。 【子ども家庭支援センター】
				児童虐待防止活動の周知・啓発（オレンジリボン運動）（再掲）	
			施策36 社会的養護を必要とする子どもへの支援の充実	社会的養護や里親制度についての周知・啓発	・例年10月・11月里親推進月間に合わせて養育家庭体験発表会を開催。 【子ども家庭支援センター】
				家庭的養護の推進	・里親制度の普及啓発を行った。 ・養育家庭体験発表会を実施した。 【子ども家庭支援センター】
				児童養護施設の支援と施設退所後の継続した支援	・児童相談所の依頼に基づき、関係機関を招集し、情報の共有と退所後の支援の役割分担を明確にした。 【子ども家庭支援センター】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
85～88		基本施策14 障害児支援の充実	施策37 障害のある子どもの支援体制の充実 重点施策	障害児支援に関する切れ目ない支援や情報提供	・ 障害児支援に関する切れ目ない支援や情報提供をした。 【大横保健福祉センター】 ・ 「特別支援教育ハンドブック」の発行などを通して、「はちおうじっ子マイファイル」の利用についての普及・啓発を行う。 ・ 小・中学校でマイファイルのための資料を保管、引継ぎするためのサポートファイルの仕組みづくりを推進する。 【教育指導課】 ・ 「はちおうじっ子マイファイル」事業で障害児のライフステージに即した切れ目ない支援を推進するとともに、障害者地域自立支援協議会こども部会を開催し、障害のある子どもと家庭を支援するために現状の把握と情報の共有を行い、障害児支援を推進した。 【障害者福祉課】
				重症心身障害児や医療的ケア児への支援	・ 小児等在宅支援に関する検討会の開催 【地域医療対策課】 ・ 医療的ケアが必要な児童・生徒に対して、学校に看護師を派遣し支援体制の充実を図る。 【教育指導課】 ・ 看護師等が重症心身障害児等の自宅に訪問して、家族の代わりに一定時間ケアを行う在宅レスパイト事業を令和2年度から開始し、支援を行った。 【障害者福祉課】
				障害のある子どもの親の会についての情報提供	・ 障害のある子どもの親の会についての情報提供をした。 【大横保健福祉センター】 ・ 障害者（児）を抱える家族が集まって運営する家族会や親の会について、相談に応じて情報提供を行った。 【障害者福祉課】
				児童発達支援などの利用者負担の無償化	・ パンフレットを作成し配布するとともに、市ホームページで広く周知を行った。 【障害者福祉課】
			施策38 障害の早期発見・早期支援の充実	子どもの発達に関する相談体制の充実	・ 子どもの発達に関する相談体制の充実を図った。 【大横保健福祉センター】 ・ 総合教育相談室において、小・中学生やその保護者を対象に、心理相談員による発達や不登校などに関する相談を実施。 【教育指導課】 ・ 市内2か所の児童発達支援センター「すぎな愛育園」「すぎな愛育園きらきら」や、発達障害児支援室「からふる」において、発達に支援を必要とするお子さんや保護者の方に対する発達相談などを行う体制を整備し、子育てに関する不安の軽減を図った。 【障害者福祉課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				保育施設や幼稚園における巡回発達相談の充実	新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言の発出期間中については、直接園で行う巡回発達相談は中止し、電話等によるフォローを中心に行った。発出期間以外は、感染対策を徹底した上で実施した。令和2年度（2020年度）実施件数204件、フォロー69件 【子どもの教育・保育推進課】
				保健福祉センターにおける発達健診や心理発達相談	・発達健診や心理発達相談を行った。 【大横保健福祉センター】
				発達障害における早期発見・早期対応の検討	・小児障害メディカルセンター内の発達障害児支援室「からふる」にて、発達障害のある、またはおそれのある児童に対し、早期発見・早期療育を行うことにより、その児童や家族が安心した生活が送れるように、相談支援事業・療育支援事業・普及啓発事業等を行った。 【障害者福祉課】
				新生児聴覚検査費用の一部助成	・新生児聴覚検査費用の一部助成とその後のフォローを実施した。 【大横保健福祉センター】
			施策39 障害児保育や障害児の居場所づくりの推進	教育・保育施設等での障害児の受入	・学童保育所では、各施設4名まで受入れを実施し、4年生までを受け入れ対象とした。 ・教育・保育施設等で障害児の受入れを行った。 【青少年若者課】 ・「医療的ケア児の保育所等受入れガイドライン」を策定し、医療的ケア児を安全に受け入れるための保育環境を整えた。 【保育幼稚園課】
				放課後等デイサービスの質の向上	・重度・重複障害児を対象とする放課後等デイサービス事業所の拡充についての検討を行っていく。また放課後等デイサービス事業所に対し、研修や指導等を行うことによりサービスの質の向上を図った。 【障害者福祉課】
				医療的ケア児の居場所づくり	・医療的ケア児が利用できる施設の拡充のため、市施設整備費補助等を活用し、事業者に働きかけを行った。入所承認基準において、指数の加点を実施 【障害者福祉課】
				子育て支援施設での障害児も一緒に参加できるプログラムの実施	・親子つどいの広場ゆめきっずで早期発達支援士による相談会。 【子ども家庭支援センター】
89～92		基本施策15 ひとり親家庭への支援の充実	施策40 ひとり親家庭への支援	「母子家庭等就業・自立支援センター事業」の実施	・八王子駅前に就労生活相談窓口を設置し、ひとり一人にあった就労支援を行った。 ・新型コロナウイルス感染症に対応するため、テレワークのスキルを習得するテレワーク推進事業を開始するとともに、就業支援セミナーをWEBで開催した。 ・Word/Excel/Powerpointなどのパソコン講座を実施した。 【子育て支援課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				経済的支援や家事支援	・児童扶養手当や児童育成手当の支給、医療費助成、母子・父子福祉資金の貸付、自立支援給付金の支給など経済的な支援を行った。 ・ひとり親家庭へのホームヘルパー派遣を行った。 【子育て支援課】
				就業支援専門員による就業の安定に向けた取組	・就業支援専門員がハローワークなどと連携し、就業支援や資格取得支援を行った。 【子育て支援課】
				離婚家庭における養育費や面会交流の支援	・離婚をめぐる法律講座や弁護士による養育費などの法律相談を実施した。 【子育て支援課】
				保育施設や学童保育所への入所や市営住宅の抽選制度などにおける、ひとり親家庭への配慮の確保	・年3回行う市営住宅入居募集において、ひとり親世帯（申込者本人が配偶者のない方であり、同居親族が20歳未満の子供だけであること）に当せん率が高くなる優遇抽選制度を実施。1世帯につき抽選番号を連番で2個与え、当せん率を一般世帯の2倍としている。 ・家賃補助対象住宅の入居者募集において、ひとり親世帯の抽選番号を2個とし、当せん率を一般世帯の2倍としている。 【住宅政策課】 ・コニカミノルタ サイエンスドーム入館料とプラネタリウム観覧料の免除 【こども科学館】 ・学童保育所入所承認基準において、指数の加点を実施 【青少年若者課】 ・ひとり親家庭に対し、調整指数を加点し利用調整時配慮した。 【保育幼稚園課】
			施策41 ひとり親家庭で育つ子どもへの支援	学習支援の実施	・児童扶養手当受給程度の所得であるひとり親家庭の中学校2・3年生に対し、家庭教師派遣による学習支援事業「ゆめはち先生」を実施した。 【子育て支援課】
			重点施策	ひとり親家庭の親と子がふれあう機会の提供	・新型コロナウイルス感染症に対応して、WEBで親子ふれあいクッキング交流会を開催した。 【子育て支援課】
				生活力の向上に向けた体験活動の実施	・子育て支援課が実施するひとり親家庭支援事業に児童館が協力して準備したが、新型コロナウイルスの影響で中止した。 【青少年若者課】
			施策42 ひとり親家庭への相談・情報提供	母子・父子自立支援員による相談・支援の実施	・母子・父子自立支援員が離婚前後の悩みや資格取得、子どもの学費などの相談を受け、種々の関連機関と連携し、自立に向けた助言を行った。 【子育て支援課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
93～ 96		基本施策16 子どもの貧困対策の推進		ひとり親家庭への情報提供の充実	・ひとり親家庭へのメールマガジンで、ひとり親独自の支援制度や子ども食堂などの情報を配信した。 【子育て支援課】
				女性のための相談や講座の実施	・さまざまな悩みや問題を抱えている女性が安心して暮らしていけるよう、女性のための電話による総合相談と専門の女性相談を実施。 女性のための総合相談（3,098件）、女性のための専門相談（417件） ・ひとり親家庭を対象として、生活や就労に対する不安を解消するための講座を開催。「シングルマザーの子育てとお金のはなし」（参加者16名） 【男女共同参画課】
			施策43 子どもへの教育・生活支援の推進 重点施策	身近な場所での学習支援の実施	生活に困窮している世帯の子どもを対象として学習意欲を保てるよう、身近な場所での学習支援を実施した。 【生活自立支援課】
				地域での相談・居場所づくり	・各関係機関と連携し、子どもからの相談に対応した。 【子ども家庭支援センター】 ・令和3年3月末時点で地域福祉推進拠点を9か所開設 【福祉政策課】 ・児童館職員が、日ごろから子どもの相談相手になった。 【青少年若者課】 ・八王子食堂ネットワークによりSNSなどで情報発信を行い、広く周知を行った。 【子どものしあわせ課】
				生活に困難を有する子どもを支える団体への支援	・八王子食堂ネットワークの活動により子ども食堂などの団体間の連携を促進し連絡会の開催により情報交換の場を設けている。また市の補助金支給により活動費を支援した。 【子どものしあわせ課】
				生活力の向上に向けた体験活動の実施（再掲）	
			施策44 生活に困っている世帯への支援	支援対象者の実態に応じた自立支援プログラムの実施	生活困窮者自立支援相談窓口では生活に困っている方に寄り添い、相談者の状況に応じて自立に向けた支援を実施します。 【生活自立支援課】
				関係機関との連携など多様な主体による支援	庁内・庁外の関係機関と情報共有を目的として生活困窮者自立支援ネットワーク会議を開催する等、関係機関と連携して、生活困窮者の早期発見・早期支援に努めた。 【生活自立支援課】
				身近な場所で早期に相談や支援が行える体制づくり	・令和3年3月末時点で地域福祉推進拠点を9か所開設 【福祉政策課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
97～99				各種手当や子どもの進学助成、住宅支援などの経済的支援	・市営住宅の入居者募集において、子育て世帯の所得要件を緩和 ・家賃補助対象住宅において、子育て世帯対象に入居者を募集 【住宅政策課】 ・【就学援助制度】経済的な理由によって就学が困難と認められた小中学生のいる世帯に対し、学用品費等を支給している。 【学務課】
				行政分野を横断した情報共有と連携強化	・八王子市包括的な地域福祉ネットワーク会議を実施し、関係機関との連携を図った。 【福祉政策課】
			施策45 子どもの貧困に関する実態把握	施策の効果把握する実態調査の定期的な実施	令和4年度の実施に向け検討を進めた。 【子どものしあわせ課】
		基本施策17 外国につながる子どもと家庭への支援	施策46 外国人家庭への子育て支援の充実	子どもへの日本語学習支援や生活支援	・市民団体による学習支援・日本語教室を支援 【多文化共生推進課】 ・日本語が話せない学齢の子が就学した際に支援者を派遣して学校生活をサポートしている。また、小中各1校ずつある日本語学級への通学費を支給している。 【学務課】
				保護者への日本語学習支援や生活支援	・市民団体による日本語教室を支援。 ・在住外国人サポートデスクにおいて、子育てや教育、就労などの生活相談に対応 【多文化共生推進課】 ・「外国人のための日本語教室」の実施 【学習支援課】
			施策47 外国人にもわかりやすい情報発信の充実	行政情報などの多言語化、やさしい日本語の活用の推進	・行政情報、各種申請書の翻訳を進め、市ホームページに公開。多言語による情報提供の充実を図る。令和2年度は、新たに8言語のページを追加 【多文化共生推進課】 ・施設等で英語や中国語のパンフレットを配布 【文化財課】 ・市民部窓口をはじめとした市施設に外国語による問い合わせがあった際の対応として、多言語通訳の委託契約を締結 【市民生活課】 ・外国人向け情報誌「Ginkgo」などを利用し、情報発信を行った。 【福祉政策課】 ・多言語対応アプリ「カタログポケット」を活用し、市の広報紙を9か国語に翻訳 【広報プロモーション課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				I C T機器の活用による多言語化対応の充実	・タブレット端末を利用したテレビ電話通訳を活用し、外国語話者が来庁した際の、多言語による窓口対応の充実を図った。 【多文化共生推進課】
			施策48 多文化共生意識の啓発や国際理解の推進	小・中学校における国際理解教育の推進	・外国語指導助手の配置（委託契約） 小学校3・4、義務教育学校3・4学年各クラスに12時間は保証 小学校5・6、義務教育学校5・6学年各クラスに32時間は保証 中学校、義務教育学校7・8・9クラス当たり19時間 特別支援学級はクラス当たり5時間 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業を受けて、特別支援学級以外は各クラス2時間減とした ・小中学校及び義務教育学校に対し、27人を配置 ・「留学生を派遣した単元学習」 【協力大学】創価大学・中央大学・津田塾大学・帝京大学・東京学芸大学・明星大学・拓殖大学 ※新型コロナ感染症拡大防止のため中止 ・「音声教材の作成」 八王子市独自の英語音声教材「えいごでいえるかな？」の音声教材を今後、市のHP及び各小・中学校並びに義務教育学校のHPにリンク先をアップロード。 ・「夏季教員研修（英会話）」→ネイティブ講師による英会話研修。 ※新型コロナ感染症拡大防止のため中止 【教育指導課】
				多文化共生の意識を高めるための交流機会の提供	・国際交流フェスティバルなどの事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ・易しい内容で多文化共生について啓発する映像を市ホームページ、コミュニティチャンネル（J:COM）にて公開・放映。 ・市図書館と連携し、多文化共生をテーマにした図書の展示を実施。 【多文化共生推進課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
101～104	第2章 基本方針5 若者の社会的自立に向けた応援・支援	基本施策18 ミライへ歩む若者への応援	施策49 一歩を踏み出すきっかけづくり 「若者なんでも相談」	人とのかかわりあうことや相談することの大切さを伝える普及・啓発活動	・若者を対象とした講座の実施 【学習支援課】 ・市内高等学校での「総合的な探究の時間」において、若者総合相談センターの周知を行うとともに、悩みを一人で抱えずに他人に頼ることの大切さを伝えた。 【青少年若者課】
			重点施策	若者なんでも相談窓口	・令和2年11月4日に若者総合相談センターを設置し、どこに相談してよいかわからないような若者に対し、若者自らが、できること、やりたいことのヒントを見つけ、一歩を踏み出せるよう、応援・支援できる体制を整備した。新規相談者数：56名 のべ相談者数：154名 【青少年若者課】
			施策50 若者の視野が広がる教育・普及啓発	若者の安全・安心な生活につながる普及・啓発	・年齢に応じた交通安全教育、自転車事故防止のための各種交通安全教室を開催し、交通安全意識を高めた。 【交通事業課】 ・東京家政学院大学の学生たちが自身の健康や食生活を見直すきっかけとなるよう、「野菜摂取」「減塩」をテーマとして、スーパーアルプスで普及啓発活動を行う取り組みを開始。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、大学がオンライン授業に変更となり事業継続中。 【健康政策課】 ・例年大学の新生ガイダンス等を通して直接学生へ啓発・注意喚起を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。それに代わる啓発として、成年年齢引き下げや若者がトラブルに遭わないための注意喚起情報を大学コンソーシアム八王子を通じて、各大学の学生専用ポータルサイトや保護者専用ポータルサイトへの掲載を依頼した。 【消費生活センター】 ・市民向け普及啓発講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。 【保健対策課】
				若者にとって生きるヒントが得られるような教育機会の充実	・若者を対象とした講座の実施 【学習支援課】
				主権者教育の充実	・学生に実際の選挙事務を経験してもらうことで選挙への関心を高めることを目的に、東京都知事選挙における投票事務への学生アルバイトの採用を行った。 ・政治関心を高めることを目的に八王子市内の学校15校における生徒会役員選挙時の投票箱などの選挙機材の貸出の実施するなど、教育委員会と連携を図り主権者教育の促進に取り組んだ。 【選挙課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
			施策51 若者のキャリア形成	若者の安定した雇用の促進	・新卒ハローワーク及び日野市との共催で、新規大卒者等就職面接会（1回、参加企業8社、求職者40名）を行った。 【産業政策課】
				若者の職場定着支援	・はちおうじ就職ナビに登録している企業等に、就職した新入社員を対象に新入社員合同研修（全3日間、参加企業12社、参加者24名）を行い、社会人としての基礎知識の習得を図るとともに、企業の枠を越えた同年代同士で悩みの共有や相談ができる仲間づくりを行った。 【産業政策課】
				大学などの教育機関や地元企業との連携によるキャリア教育の支援	・職業意識を高め、八王子市の市政に対する理解を深めるため、インターンシップの受け入れを実施（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れを縮小） 【職員課】 ・大学コンソーシアム八王子や（公財）東京しごと財団等の共催により合同企業説明会を開催した。例年2回開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により1回のみで開催となり、参加者数150名、参加企業数は34社であった。 【学園都市文化課】
				雇用奨励金、若者奨励金	・はちおうじ就職ナビに掲載されている企業に入社された若者に奨励金を交付（新規認定者74名）した。 【産業政策課】
				はちおうじ就職ナビによる市内企業の魅力発信	・市内235社の企業の魅力を発信した（令和2年度は34社増） 【産業政策課】
				女性のための再就職支援（再掲）	
				リカレント教育に関する機会の創出	・市内のリカレント教育情報を一元化して提供するスマートフォン向けアプリの構築を行った。 【生涯学習政策課】
			施策52 若者の「今」を応援	若者が参加できるボランティア活動などの充実	・感染症拡大防止のため、成人式の高校生ボランティアは見送った。 【生涯学習政策課】 ・例年、学生が参加可能なボランティア活動について全庁的に照会し、取りまとめた結果を大学コンソーシアム八王子加盟校等に情報提供しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止とした。 【学園都市文化課】
				若者の文化・芸術分野における活動の促進	・八王子学生演劇祭2020（全4公演、上映会2回）を実施した。 【学園都市文化課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
105～ 110				若者による社会参加・社会貢献活動の促進	・大学コンソーシアム八王子が、学生による地域貢献活動等を支援する学生企画事業補助金を実施しており、令和2年度は、11件に対し補助を行った。 【学園都市文化課】
				伝統文化ふれあい事業、学生企画事業補助金、学生発表会、八王子学生CMコンテストの実施	・伝統文化ふれあい事業：八王子車人形をはじめとする各講座の実施した。全講座数：29回（うち発表会3件） 参加者数：12名 ・学生企画事業補助金：11件に対し補助を行った。 ・学生発表会：一部オンラインにて実施。発表件数 167件 ・八王子学生CMコンテスト：新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【学園都市文化課】
				次代のまちづくりを担うユースリーダーの育成（再掲）	
		基本施策19 悩みや不安を抱えた若者への支援	施策53 働くことや学ぶことへの不安や悩みを抱える若者に寄り添う支援 重点施策	若者なんでも相談窓口（再掲）	
				働くことへの悩みを抱えた若者の支援	・若年無業者就労促進支援事業において、就職したものの人間関係に悩みを抱えるなどして退職した若者や、就業経験のない若者などの就労に向けた相談を受け付け、市内の協力企業において経験の浅い若者に不足しがちな就労体験が積めることで、円滑に就職活動を進めることができるよう支援を行った。進路決定者数：37名。 【青少年若者課】
				学びの継続や、学び直しに向けた活動支援	・若者総合相談センターにおいて、現在高校、大学及び専門学校等に在籍しているものの不登校となっている若者や、退学している若者の相談を受け付けるとともに、就労に向けた支援が必要な若者については、八王子若者サポートステーションにつなぎ、就労に向けた適切な支援につなげた。 【青少年若者課】 ・「だれもが自由に学べる開かれた学び舎」として大学コンソーシアム八王子加盟校等が講座を提供する「学園都市大学（いちよう塾）」を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、提供講座数が減となった。 【学園都市文化課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				中学校との連携による切れ目ない支援	・職場体験を実施した。（業界団体や企業などに協力を呼びかけ、「受入先事業所等の一覧」を作成し市立中学校に提供、各学校に対して実施計画の作成等についての指導・助言、市民の職場体験に対する意識啓発、機運の醸成を図る普及啓発活動の検討） 【教育指導課】 ・中学校校長会において、若者総合相談センターでの相談支援及び各中学校への訪問支援について周知を行うとともに、相談のあった生徒が在籍する中学校と個別に連携を図った。 ・中学卒業間近である1月から3月にかけて、中学生の相談が複数あり、当センターでの居場所支援等につなげている。 【青少年若者課】
				サードプレイスの創出	・ベルマークの仕分けボランティアや遊びを通して人と話すことに慣れるプログラム活動、安心して好きなように過ごせるフリースペースなどのサードプレイスを若者総合相談センター内に開設した。プログラム活動：20件、83名が参加。フリースペース：336名が利用。 【青少年若者課】
				農福連携の推進	・青年新規就農者の経営確立を支援するため、補助金の交付に不可欠となる計画の策定を行った。 【農林課】
				図書館における実習、就労体験の提供	
		施策54 ひきこもり状態にある若者とその家族への支援		若者なんでも相談窓口（再掲）	
				ひきこもり状態にある若者や家族への支援	・6か月から3年を超える中長期的な悩みや課題を抱える若者やその家族等からの新規相談者数は56名中36名であり、その多くが、これまでこの支援機関ともつながっていない状態だった。必要に応じて自宅へのアウトリーチを行うほか、東京都ひきこもりサポートネットとの連携により、市内のひきこもり状態にある若者やその家族への支援を行った。 【青少年若者課】
				こころの健康に向けた支援	・専門医による相談、専門機関との連携によるアウトリーチ事業を行った。デイケア活動は年25回、メンバー延182名、家族のためのグループワークは年3回実施し、コロナ禍においても対策をとりながら支援を継続した。 【保健対策課】
				中学校との連携による切れ目ない支援（再掲）	
				地域福祉推進拠点におけるひきこもり支援	・地域福祉推進拠点のCSWによる断らない相談体制の構築を進めた。 【福祉政策課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
			施策55 生活に困っている 若者への支援	生活に困っている若者の相談窓口	生活困窮者自立支援相談窓口では生活に困っている方に寄り添い、相談者の状況に応じて自立に向けた支援を実施した。 【生活自立支援課】
				生活に困っている若者への就労・生活などに関する支援	生活困窮者自立支援相談窓口では生活に困っている方に寄り添い、相談者の状況に応じて自立に向けた支援を実施した。 【生活自立支援課】
				生活に困っている若者の就学に関する支援	受験料や塾代の貸付を行う受験生チャレンジ支援貸付事業などの情報が支援を必要とする方へ届くよう周知を進めた。 【生活自立支援課】
				市営住宅の整備・管理、民間住宅への家賃補助	・子育て世帯向け住宅割当制度を導入し、令和2年7月の市営住宅入居募集において、子育て世帯向け定期使用住宅24戸を募集した。 ・家賃補助対象住宅において、子育て世帯対象に入居者を募集した。 【住宅政策課】
				居住支援協議会の運営	・住宅相談会を開催した。 ・居住支援協力店（住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居について支援を行う市内事業者）の登録を推進した。 【住宅政策課】
			施策56 若者の非行防止や 立ち直り支援	青少年サポートネット・はちおうじによる支援	・八王子地区保護司会への委託により、少年の非行など行政だけでは解決が困難な相談に対等するとともに、相談者を適切な支援先へつなぐなどセーフティネットの役割も担った。※若者総合相談センター開設に伴い、本事業は令和2年度に廃止とした。 【青少年若者課】
				再犯防止推進計画	・令和3年（2021年）4月に再犯防止推進計画の策定を行った。今後は、再犯防止推進協議会を設置し、計画の推進・進捗管理を行う。 【防犯課】 ・229名の育成指導員による2,844回以上の巡回活動など、地域の実情に応じた健全育成活動を実施した。 ・青少年健全育成キャンペーンにおいては、感染拡大の影響により、市内一斉駅頭啓発活動等は中止となったが、各地域において対面形式によらない啓発活動を実施した。 【青少年若者課】
				薬物乱用防止の推進・啓発	・薬物乱用防止啓発カレンダーを作成し、市内小中学校及び公共施設等に配布することで、薬物乱用防止の推進・啓発に努めた。 【生活衛生課】
				青少年育成指導員による活動	・229名の育成指導員による2,844回以上の巡回活動など、地域の実情に応じた健全育成活動を実施した。青少年健全育成キャンペーンにおいては、感染拡大の影響により、市内一斉駅頭啓発活動等は中止となったが、各地域において対面形式によらない啓発活動を実施した。 【青少年若者課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
			施策57 様々な生きづらさを抱えた若者への支援と支え合い	障害のある若者などへの支援	・障害者就労・生活支援センター「ふらん」などとの協働により就労面と生活面の一体的な支援を行った。 【障害者福祉課】
				外国人へのコミュニケーションや生活面に関する支援	・在住外国人サポートデスクにおいて、生活に関する相談対応、情報提供を実施 【多文化共生推進課】 ・若年無業者就労促進事業の支援メニューにおいて、外国にルーツをもつ若者を対象とした、就労に向けた日本語等の学習指導の実施があるが、コロナの影響等により、令和2年度は参加者がいなかった。 【青少年若者課】
				自殺対策に関する市民への普及・啓発及び支援者の人材育成	・自殺対策強化月間（9・3月）に、広報等掲載やCM放送など普及啓発を行った。 ・依頼教育にゲートキーパーの内容を盛り込んで実施した。 ・市職員向けにゲートキーパーの人材育成研修をe-ラーニングで実施し、全庁的に自殺対策に取り組んでいく意識付けを行った。 【保健対策課】
				妊娠や健康面での悩みなどを抱える女性のための相談の実施	・妊娠や健康面での悩みなどを抱える女性のための相談を実施した。 【大横保健福祉センター】
				L G B T 電話相談などの実施	・例年フラワーフェスティバル、いちよう祭りで啓発チラシを配布していたが、令和2年度は中止となったため、実施なし。 【総務課】 ・性的指向・性自認など、性の多様性を尊重するための意識啓発と情報提供を行った。 ① L G B T 電話相談の実施（相談件数14件） ② チラシの配架 【男女共同参画課】
				特殊疾病などの患者・家族への療養相談	・在宅難病療養者の療養状況を把握し、安定した療養生活が送られるよう支援した。（訪問・面接等総数 1,063回） 【保健対策課】
				がん患者の相談に乗る支援機関の周知・啓発	がん患者支援のためのガイドを作成し、市内医療機関等に配架した。がん患者やその家族が抱える治療、生活、仕事といった様々な疑問や不安を解決するため、然るべき窓口へつなげることができた。 【成人健診課】
				消費生活相談	・30歳未満の相談件数 685件（全体件数4,827件） 【消費生活センター】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
111～ 114		基本施策20 地域で若者を応援する環境づくり	施策58 支援の輪が広がるネットワーク 重点施策	若者なんでも相談窓口を核とした支援機関を結ぶネットワーク	・若者総合相談センターで受け付けた相談に対して、適切な分野の支援につなげるとともに、課題が複層的なケースの場合などは、複数分野を適切に組み合わせた支援を行うため様々な支援機関との連携を強化するため、支援機関への訪問を行った。 【青少年若者課】
				中学校・高校・専門学校・大学などの教育機関との連携による支援の充実	・在学中の教育機関との連携を図り、卒業後等に円滑に若者総合相談センターの支援につなげられるよう、各種教育機関への若者総合相談センターの周知及び個別連携を図った。 【青少年若者課】 ・大学コンソーシアム八王子の情報発信事業として高校生向け情報誌を20,000部作成し、市内の高校や進学ガイダンスで配布した。 【学園都市文化課】
				支援者への支援	・子育て・児童等の研修受講や、子ども家庭支援センターとの連携等により問題解決に対応するよう努めている。 【福祉政策課】 ・青少年対策地区委員会に対し、東京都によるアドバイザー派遣事業を周知するなど、情報提供による支援を行った。 【青少年若者課】
				「（仮称）若者支援協議会」における支援体制づくり	・若者総合相談センターの設置及びケースを通じた地域の若者支援機関同士の顔の見えるネットワークを構築していく中で、実質的な支援が行える協議会の姿を検討していく。 【青少年若者課】
				生活困窮者自立支援ネットワーク会議	庁内・庁外の関係機関と情報共有を目的として生活困窮者自立支援ネットワーク会議を開催する等、関係機関と連携して、生活困窮者の早期発見・早期支援に努めます。 【生活自立支援課】
				はちおうじっ子・切れ目のない支援事業庁内検討委員会	・はちおうじっ子・切れ目のない支援事業では、保護者や子ども本人が、自身の成長を記録・保存できる「はちおうじっ子マイ・ファイル」を配布した。 また、障害児のライフステージ毎に想定される課題と、その相談先を一覧にしたパンフレットを作成及び配布した。 【障害者福祉課】
				地域福祉推進拠点との連携	・八王子市包括的な地域福祉ネットワーク会議により相談機関同士の連携体制の構築を進めた。 【福祉政策課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
115～ 118			施策59 若者ニーズの キャッチと情報発信	若者のライフスタイルに関する意識調査などの実施	若者の支援又は活動の応援につながる意識調査の実施について、今後検討する。 【青少年若者課】
			重点施策	若者が親しみやすい様々な媒体による情報提供	若者を対象とした行政サービスの情報提供について、今後検討する。 【青少年若者課】
				若者による地域でのボランティアなどの活動の発信	・毎年、中町まちづくり協議会とともに、地区内道路のガムはがしを行う学生ボランティアを募集。（令和2年度はコロナ禍のため未実施） 【まちなみ景観課】 ・若者総合相談センターにおける活動メニューとして、高尾山薬王院での清掃ボランティア活動を実施した。今後も、地域における活動メニューを充実を図っていく。 【青少年若者課】
				東京都などとの連携や支援機関への情報提供	・東京都やNPO法人等の相談機関について、市ホームページにて周知を行った。 【保健対策課】 ・東京都が実施するSNS相談について、市HPにおいて周知を図ったほか、東京都ポータルサイト「若ぼた」に八王子市若者総合相談センターの記事の掲載依頼を行い、掲載した。 【青少年若者課】
		基本施策21 若者たちがつくる八王子のミライ	施策60 いかしていこう！ 若者の声	高校生・大学生などによるまちづくりに関する提案事業	・大学コンソーシアム八王子加盟校の学生が日ごろの学びの成果や地域課題の解決へ向けた提案を行う学生発表会を行った。 発表件数：167件（口頭発表 107件、ポスター発表 44件、展示発表 16件） 【学園都市文化課】 ・令和2年度新規事業として「高校生によるまちづくり提案発表会」を開催した。（高等学校における「総合的な探究の時間」にて八王子の課題解決に向けて学習に取り組んだ高校生が、その成果を市に発表する機会を提供するとともに、市職員が若者の視点にふれ、今後の市政の参考にする機会とするもの。） 【青少年若者課】
			重点施策	若者の声をまちづくりに活かすための取組の充実	・「市長と語る」、「市民フォーラム・未来を語る」を実施しなかったため取組実績なし。 【広聴課】 ・地区住民及び商店主が花街の歴史と文化のまちづくりを推進している「中町地区まちづくり協議会」に、工学院大学（野澤研究室）の学生も参加し、まちづくり活動を行っている。 【まちなみ景観課】
				市の長期ビジョン策定における若者の参加	・長期ビジョンに関する「大学生ワークショップ」の開催 【未来デザイン室】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				市の各種審議会への若者の参加	令和２年度は、令和３年度に向けて準備を行った。 【青少年若者課】
				子どもミライ会議の開催	・子ども企画委員代表2名が市長・教育長を前に意見を発表した（2月11日・オンライン開催）。 【青少年若者課】
				（仮称）地域づくり推進会議における若者の参加	・地域づくり推進会議の設置に向けた「中学校区別ワークショップ」の開催による高校生・大学生の参加 【未来デザイン室】
			施策61 若者の活動・チャレンジを応援	企業や大学、市民団体などとの連携・協力事業の推進	・市民活動支援センターにおいて、若者支援を行っている団体に対する活動支援を行った。 【協働推進課】
				地域を支える若者の活動の支援	・市民活動支援センターにおいて、若者支援を行っている団体に対する活動支援を行っている。 【協働推進課】 ・少年の非行などからの立ち直り支援を行っており「子ども若者サポート事業連絡会」構成団体であるBBS会の活動の下支えとなるよう、会の紹介リーフレット作成と市各施設への配布を行った。 【青少年若者課】
				団地の活性化などをテーマとした若者の活動の支援	生活支援コーディネーターを通じた団地内の地域活動に関する各種情報提供及び関係者間のネットワーク構築 【高齢者いきいき課】
				創業を志す若者の支援	・令和2年度（2020年度）はサイバーシルクロード八王子において「本気の創業塾」を6日間にわたり実施した。（10/24～11/28） 【企業支援課】
				成人式実行委員会	・大学生が中心になり成人式の企画やオンライン動画作成を行った。 【生涯学習政策課】
				国際スポーツ大会における語学ボランティア	国内競技団体が、東京2020大会（延期前）と同じ年に国際スポーツ大会を開催できる体制が整わず、国際スポーツ大会が開催されていないため、令和２年度の実績なし。 【オリンピック・パラリンピック推進室】
				民間団体などによるまちの活性化イベントの支援	・民間団体が実施するイベント事業を後援した。 【産業政策課】

ページ	章または基本方針	基本施策	施策	施策内容／計画名／指標内容	取組内容
				アスリートや有資格指導者の活躍の場の創出	・スポーツ教室を開催するにあたり、地域にゆかりのあるアスリートに講師を依頼した。 【スポーツ振興課】
			施策62 若者の活動拠点づくり	(仮) ユースセンター構想（児童館のあり方）	・新型コロナウイルスの影響により、検討を延期した。 【青少年若者課】
			重点施策	公共施設や、空き家などにおける活動への若者参加の促進	・八王子駅南口集いの拠点整備の推進に向け、以下に取り組んだ。 ・事業手法及び業者選定会議の設置について、庁内検討会（2回）、課長級会議（1回）を実施し、政策会議にて決定 ・都市計画決定告示（都市計画公園、用途地域、地区計画等）（令和2年8月） ・国有地を取得することについて、国有財産関東地方審議会を経て、相手方決定（令和2年12月） ・用地取得のための国及び都の補助金を申請 ・要求水準書作成にあたり、関係所管との連携・調整、ワークショップを実施 ・事業者アンケートを実施 【集いの拠点整備課】 ・学園都市センターについて、学生利用の更なる促進を図るため、周知用のチラシを作成し配布したほか、SNSでの情報発信を行った。 【学園都市文化課】
				街なかにおける自習スペースの提供	・「学生のためのフリースペース」の実施 【学習支援課】
				公共施設の利用料金の学割設定	・学園都市センターにおいて、大学・短期大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生で構成する団体が、文化・学習活動及び市内大学・短期大学・高等専門学校でが用する場合、利用料金を減額（40%～75%）している。（一部条件あり） 【学園都市文化課】
				多摩ニュータウンの持続可能なまちづくりにおける、まちづくりミーティング	・令和2年度の実績なし （理由）「鹿島・松が谷地域まちづくりミーティング」は令和元年10月から12月にかけて4回開催し、計画掲載時点で事業完了している。 多摩ニュータウンの他地域において実施予定なし。 【都市総務課】

2 施策の展開

(1) 計画の体系

計画の基本理念や目標の実現に向けて、3つの視点と5つの基本方針に基づき施策を展開していきます。特に重点的に取り組む施策については「重点施策」に位置付けるとともに、成果を客観的に把握できるよう、基本施策ごとに指標を設定しています。

《計画の概念図》

基本理念

**みんなで育てる みんなが育つ
わたしたちがミライにつなぐ はちおうじ**

目標

- 子ども・若者にやさしいまち
- 子育てしやすいまち
- 子ども・若者が夢と希望を持ってあるけるまち

3つの視点で
施策を展開

夢と権利を
まもる

育てる・
育つが
楽しい

ミライを
ひらく

方針	基本施策	施策
1 ミライを担う子どもの育成	1. 子どもの権利を大切にするまちづくり	1. 子どもとつくる八王子のミライ 重点
		2. 子どもからの相談体制の充実
		3. 子どもの権利を大切にする取組
	2. 子どもの生きる力を育む遊びや体験の充実	4. 遊びをとおした子どもの成長・発達
		5. 屋外での遊びや体験の充実 重点
		6. 豊かな感性を育てる体験機会の充実
	3. 乳幼児期の教育・保育の質の向上	7. 乳幼児期の教育・保育の質の向上 重点
		8. 保・幼・小連携の推進
	4. 若者期へとつなぐ健やかな育ちの支援	9. 生活や学びの基礎を育む取組
		10. 将来や生き方を考える機会の確保
		11. 青少年の健全育成に向けた支援
		12. 地域における子どもの居場所づくり
2 子どもを育む家庭への支援	5. 妊娠期からの切れ目ない支援の充実	13. 八王子版ネウボラによるきめ細かな相談・支援 重点
		14. 親と子の健康づくり
	6. 働きながら子育てできる環境の整備	15. 多様な教育・保育の提供
		16. 学童保育所の整備・拡充 重点
		17. 子育てと仕事が両立できる環境づくり
	7. 子育て家庭への支援	18. 子育て家庭への経済的支援
		19. 家庭における食育や家庭教育の支援
		20. 子育ての楽しさを支える学びの場の提供
	8. 身近な場所での相談・居場所の充実	21. 子育てひろばの充実 重点
		22. 子育てに関する相談体制

方針	基本施策	施策
3 子ども・子育てをみんなで支えるまちづくり	9. 子育てを共に楽しむまちづくり	23. 子育てを応援する市民活動団体の支援
		24. 企業・大学等の参加による子ども・子育て支援 重点
		25. 子育て施設や学校施設を核とした地域づくり
	10. 子育てを支える地域人材の育成	26. 子育てボランティアへの支援
		27. 子育て支援者の活動の促進
	11. 子育てプロモーションの推進	28. みんなに届く子育て情報の発信 重点
		29. 子育てをみんなで楽しむ地域づくり
	12. 親子が安全・安心に暮らせるまちづくり	30. 子どもと一緒におでかけしやすいまちづくり
		31. 地域力を活かした防犯対策
		32. 子どもを事故から守るための取組
		33. きれいなまちづくりの推進
		34. 児童虐待の予防や早期発見・早期対応 重点
4 配慮が必要な子どもと家庭への支援	13. 児童虐待の防止	35. 児童虐待防止を支えるネットワークの充実と人材育成
		36. 社会的養護*を必要とする子どもへの支援
		37. 障害のある子どもの支援体制の充実 重点
	14. 障害児支援の充実	38. 障害の早期発見・早期支援
		39. 障害児保育や障害児の居場所づくり
		40. ひとり親家庭への支援
	15. ひとり親家庭への支援	41. ひとり親家庭で育つ子どもへの支援 重点
		42. ひとり親家庭への相談・情報提供
		43. 子どもへの教育・生活支援 重点
	16. 子どもの貧困対策の推進	44. 生活に困っている世帯への支援
		45. 子どもの貧困に関する実態把握
		46. 外国人家庭への子育て支援
	17. 外国につながる子ども*と家庭への支援	47. 外国人にもわかりやすい情報発信
		48. 多文化共生意識の啓発や国際理解の推進
		49. 一歩を踏み出すきっかけづくり 「若者なんでも相談」 重点
5 若者の社会的自立に向けた応援・支援	18. ミライへ歩む若者への応援	50. 若者の視野が広がる教育や普及・啓発
		51. 若者のキャリア形成
		52. 若者の「今」を応援
		53. 働くことや学ぶことへの不安や悩みを抱える若者に寄り添う支援 重点
	19. 悩みや不安を抱えた若者への支援	54. ひきこもり状態にある若者とその家族への支援
		55. 生活に困っている若者への支援
		56. 若者の非行防止や立ち直り支援
		57. 様々な生きづらさを抱えた若者への支援と支え合い
		58. 支援の輪が広がるネットワーク 重点
	20. 地域で若者を応援する環境づくり	59. 若者ニーズのキャッチと情報発信 重点
		60. いかしていこう！若者の声 重点
	21. 若者たちがつくる八王子のミライ	61. 若者の活動・チャレンジを応援
		62. 若者の活動拠点づくり 重点